

－ 資料編 目次 －

1. 海の森クロスカンントリーコースの計画の目的及び内容…………… 資料編 1
2. 環境影響評価の項目…………… 資料編 5

1. 海の森クロスカントリーコースの計画の目的及び内容

1.1 内容

1.1.1 施工計画

(1) 工事用車両

本事業における工事用車両の台数は、表 1.1-1 に示すとおりである。

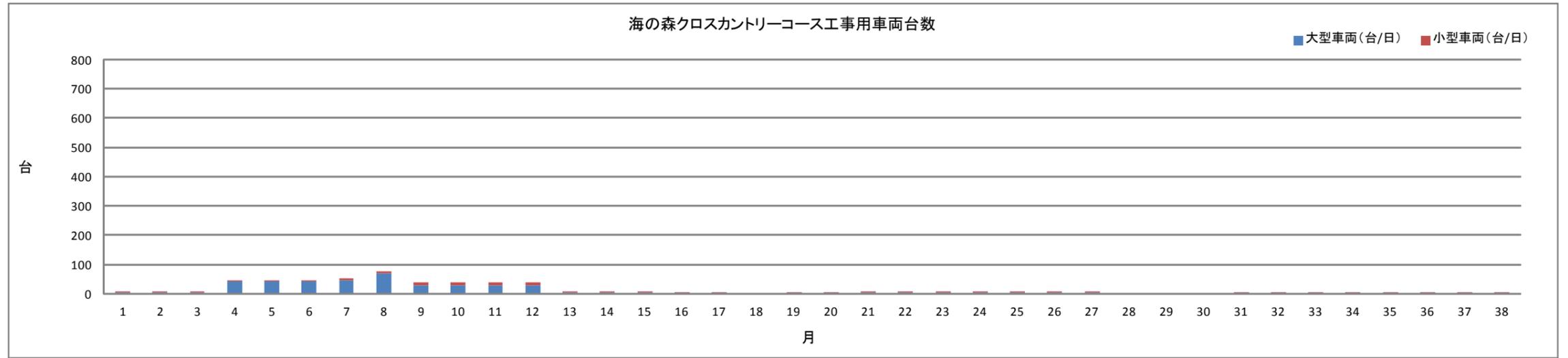
工事用車両の走行台数が最も多くなる時期は、工事着工後 8 か月目であり、77 台/日である。計画地に隣接する海の森水上競技場整備に伴う工事用車両との合計台数が最も多くなる時期は、海の森クロスカントリーコース工事着工後 8 か月目であり、711 台/日である。

表 1.1-1 工事用車両の台数

述べ月数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	
樹木移植工																																							
造成工																																							
路盤工(芝コース)																																							
芝張工(芝コース)																																							
芝張工(障害物周り・ウォームアップエリア)																																							
障害物設置工(テストイベント用)																																							
障害物設置工(本大会用)																																							
仮設散水設備設置工																																							

海の森クロスカントリーコース工事用車両台数

大型車両(台/日)	3	3	3	42	42	42	45	68	28	28	28	28	3	3	3	1	1	0	1	1	3	3	3	3	3	3	3	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
小型車両(台/日)	3	3	3	3	3	3	6	9	9	9	9	9	6	6	6	3	3	0	3	3	6	6	6	6	6	6	6	0	0	0	0	3	3	3	3	3	3	3	3
一日当り台数合計(台/日)	6	6	6	45	45	45	51	77	37	37	37	37	9	9	9	4	4	0	4	4	9	9	9	9	9	9	9	0	0	0	0	4	4	4	4	4	4	4	4

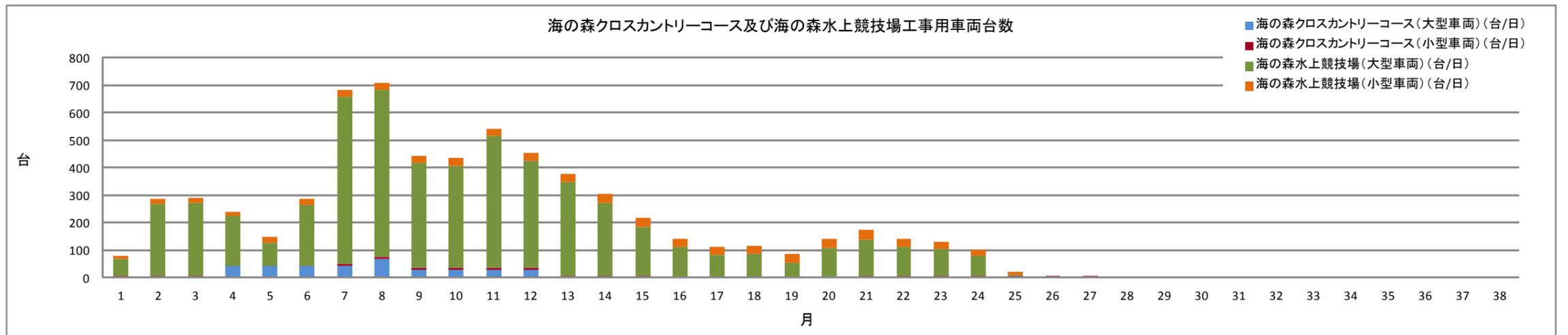


海の森水上競技場工事用車両台数

大型車両(台/日)	62	263	266	179	83	222	608	607	380	370	480	390	339	265	178	110	79	88	52	104	128	103	98	73	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小型車両(台/日)	12	17	20	17	21	22	25	27	27	28	27	27	29	30	32	30	31	29	32	32	38	29	23	19	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一日当り台数合計(台/日)	74	280	286	196	104	244	633	634	407	398	507	417	368	295	210	140	110	117	84	136	166	132	121	92	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

海の森クロスカントリーコース及び海の森水上競技場工事用車両台数

大型車両(台/日)	65	266	269	221	125	264	653	675	408	398	508	418	342	268	181	111	80	88	53	105	131	106	101	76	6	3	3	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	
小型車両(台/日)	15	20	23	20	24	25	31	36	36	37	36	36	35	36	38	33	34	29	35	35	44	35	29	25	15	6	6	0	0	0	0	3	3	3	3	3	3	3	3
一日当り台数合計(台/日)	80	286	292	241	149	289	684	711	444	435	544	454	377	304	219	144	114	117	88	140	175	141	130	101	21	9	9	0	0	0	0	4	4	4	4	4	4	4	4



2. 環境影響評価の項目

事業の位置が類似した環境影響評価事例による建設機械の稼働に伴う大気汚染物質濃度の寄与濃度と計画地からの距離の関係は、図 2-1 に示すとおりであり、計画地からの距離が離れるほど寄与濃度が急激に低下する傾向を示している。

本評価書案の対象である海の森クロスカントリーコースの計画地から内陸の湾岸エリアまでは、10km 以上の離隔があるため、建設機械の稼働に伴う寄与濃度はバックグラウンド濃度（二酸化窒素 0.024ppm、浮遊粒子状物質 0.022mg/m³）に対して僅かである。

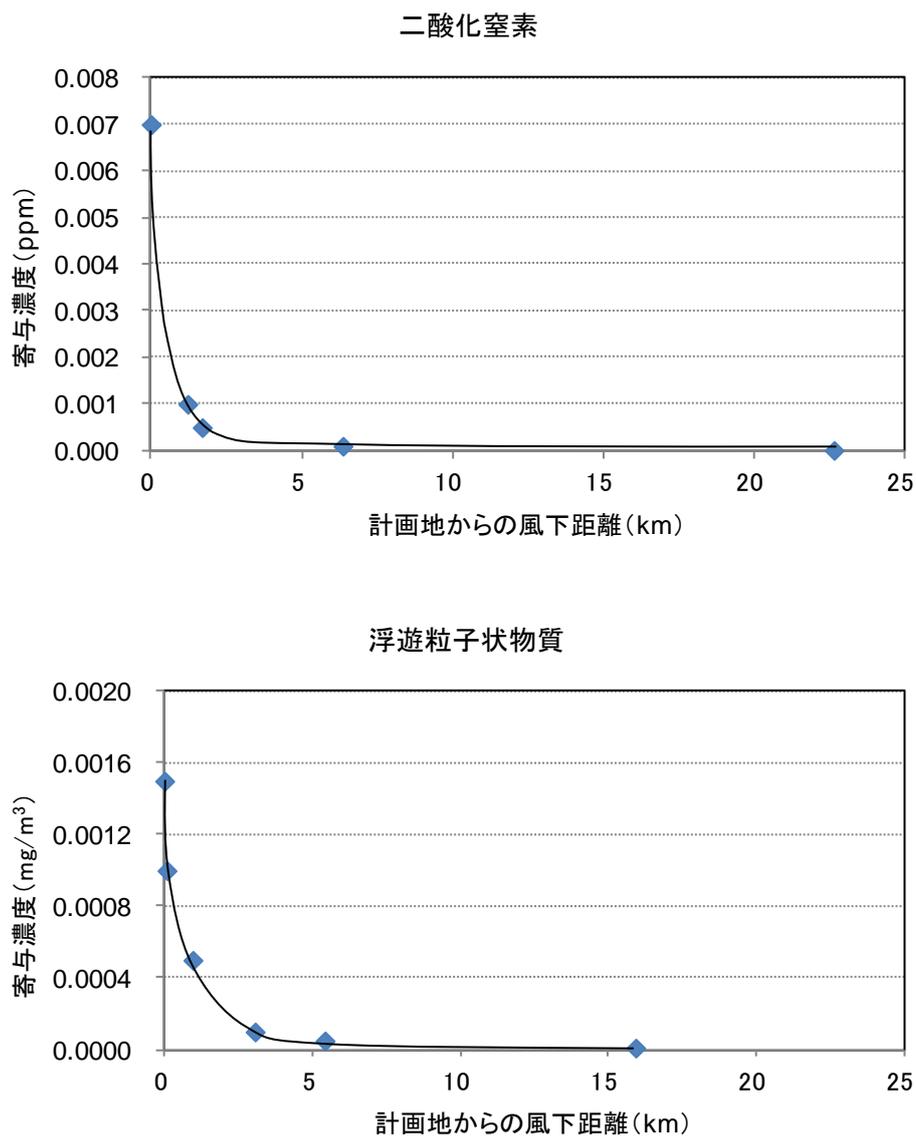


図2-1 建設機械の稼働に伴う大気汚染物質濃度の寄与濃度と距離の関係

なお、バックグラウンド濃度は、二酸化窒素、浮遊粒子状物質ともに、計画地周辺の一般局である中央区晴海、港区台場、江東区豊洲及び大田区京浜島の測定結果を用いて設定した。

当該測定局については、表 2-1 (1) 及び表 2-1 (2) に示すとおり、過去5年間（平成 22～27年度）で二酸化窒素、浮遊粒子状物質ともに減少傾向がみられる。将来もこのまま推移するものと考えられるが、バックグラウンド濃度としては平成 27 年度の平均値とした。

- ・ 二酸化窒素 :0.024ppm
- ・ 浮遊粒子状物質 :0.022mg/m³

表2-1(1) 二酸化窒素 (NO₂) のバックグラウンド濃度

単位：ppm

測定局	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
中央区晴海測定局	0.024	0.024	0.024	0.024	0.023
港区台場測定局	0.026	0.025	0.025	0.025	0.024
江東区豊洲測定局	0.029	0.027	0.025	0.026	0.022
大田区京浜島測定局	0.029	0.028	0.027	0.029	0.028

出典：「大気汚染結果ダウンロード」（平成 28 年 12 月 1 日参照 東京都環境局ホームページ）
https://www.kankyo.metro.tokyo.jp/air/air_pollution/result_measurement.html
 「大気汚染常時測定」（平成 28 年 12 月 1 日参照 江東区ホームページ）
<https://www.city.koto.lg.jp/seikatsu/kankyo/7289/17862.html>
 「環境調査報告書」（平成 28 年 12 月 1 日参照 大田区ホームページ）
https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/sumaimachinami/kankyou/shiryo/kankyouchousa_houkokusho/index.html

表2-1(2) 浮遊粒子状物質 (SPM) のバックグラウンド濃度

単位：mg/m³

測定局	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
中央区晴海測定局	0.023	0.023	0.022	0.021	0.021
港区台場測定局	0.025	0.024	0.023	0.021	0.021
江東区豊洲測定局	0.022	0.020	0.021	0.022	0.023
大田区京浜島測定局	0.024	0.022	0.023	0.023	0.022

出典：「大気汚染結果ダウンロード」（平成 28 年 12 月 1 日参照 東京都環境局ホームページ）
https://www.kankyo.metro.tokyo.jp/air/air_pollution/result_measurement.html
 「大気汚染常時測定」（平成 28 年 12 月 1 日参照 江東区ホームページ）
<https://www.city.koto.lg.jp/seikatsu/kankyo/7289/17862.html>
 「環境調査報告書」（平成 28 年 12 月 1 日参照 大田区ホームページ）
https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/sumaimachinami/kankyou/shiryo/kankyouchousa_houkokusho/index.html